

第

4

回

# 家庭と学校との連携について考える会

開催日 令和8年(2026年)1月15日(木)

4回目となる今回は、教育イベント（Kumamoto Educathion Week）において、連携の必要性や意義、PTA等の組織について、また今後の連携の方向性について様々なアイデアや意見が出されました。

## 連携の第一歩は「互いを知ること」

○学校と家庭は、特別な取組をするのではなく、まずはお互いを知るために連携することが必要だと感じた。学校がどのような教育活動を行っているのか、家庭の状況はどのようなものであるか、そうした背景を共有することが、連携の第一歩になると改めて思った。

○学校は限られた時間の中で活動しており、家庭からは学校での様子が見えにくい部分もある。「見えにくさ」「わかりにくさ」が、保護者の不安や誤解につながるのではないかと。互いのことを知ることが大切だと思う。

○学級懇談会で「子育ての悩み」などをテーマに対話する時間があると、保護者同士のつながりが生まれることが期待できる。

## 「子どもたちの幸せ」を実現するための連携

○家庭も学校も地域の方々も、「子どもたちに幸せになってほしい」という共通の願いをもっている。その願いを実現するための連携であるからこそ、活動そのものを目的とするのではなく、家庭と学校が同じ目的に向かって進むための機会として捉えるとよいのではないかと。

○PTAや保護者会といった組織が、保護者から寄せられた学校への意見や要望へのワンクッションとなり、対応の一助となれば、学校の負担軽減につながり、結果として教員が子どもたちに向き合う時間を確保しやすくなるのではないかと。

○保護者の意見を拾い上げ、教育委員会や議会へつなぐ役割は、PTAや保護者会などの組織がもつ強みとなる。

～お知らせ～

第5回は3月16日(月)熊本市教育センターで開催します。これまでの全4回での主な意見を記載した報告書の内容について話合います。

## Kumamoto Education Week2026 プログラムとして開催



## 参加しやすい機会づくり

○学校への意見を聞くために保護者と語る場（カタリ場）を開催している。今年は、保護者同士でこどもの育ちについて語り合いたいという要望があった。やらされ感ではなく保護者主体の活動になっている。

○学校行事（授業参観、学級懇談会）に併せて、マルシェ等のPTA活動を行うことで、保護者が参加しやすくなったと感じられた。

○保護者の参加を募り「学校ツアー」を行っている。PTA会長が学校を案内し、保護者が学校参観をするもの。保護者目線で学校全体へ気づき等の感想がいただけ、参考になる。

○保護者同士のつながりの中で「こんなことを一緒にやってみたい」という思いを実現するためにマネジメントしていくのが、PTA会長等の役割でもあると思う。

お問い合わせ：熊本市教育委員会 地域教育推進課（328-2276）